

第5回 EBAワークショップ  
「図書館史研究にとってエビデンスとは何か？」

アメリカにおける図書館史研究の動向

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科  
吉田右子(yoshida@slis.tsukuba.ac.jp)

1

歴史研究におけるエビデンスとは

- 人文学研究としての歴史研究
  - 研究の確かさを示す評価基準が存在している
  - ただしエビデンスという用語では表現されない
- 研究方法と「エビデンス」
  - 研究の確かさを裏づけるもの(=エビデンス)は、研究方法と密接に関連する
- 研究のプロセスとエビデンス
  - 研究の各段階で「エビデンス」が考慮される

2

歴史研究プロセスにおける  
エビデンス

- データ収集
  - 網羅的に集める「どこから？」
- データ整理
  - 収集データを取捨選択「何を？」
- 論文執筆
  - 他者の言説を編成して、説得力のあるストーリーを再構築「どのように？」

エビデンスの確保は段階を追って困難に

3

データ収集

データ収集におけるエビデンス

- 二次資料による研究から、**二次資料プラス未公開の一次資料**を使った研究への移行(1990年代～)
  - オーラルヒストリー・ライフヒストリー
  - 個人・**機関文書**を利用した研究
- データ収集プロセスにおける問題点
  - 記録文書の持つバイアス(図書館研究におけるジェンダーバイアス)
  - アクセスに難がある(行ってみないと何があるかわからない)

4

データ整理

データ整理におけるエビデンス

- 収集データを取捨選択
  - 「何を**選び何を捨てたのか**」を**説明するための基準**
- データ整理プロセスにおける問題点
  - 一次資料は雑多である
  - 膨大な文書から、適切な資料を選択するスキル

5

論文執筆

論文執筆におけるエビデンス

- **研究枠組みと分析概念を用意した上で**、他者の言説を再編成して、新たな研究成果を生み出す
  - 再構築を行う際の研究の枠組みと分析概念は、研究のオリジナリティであり、同時にこの段階のエビデンスでもある
- **編成のスキルと叙述の様式**
  - 材料をどのように配置し、どのように表現するのか

6

## 研究枠組み・視座

- 1970年代以降 ライブラリアンシップに対する批判的視座「修正解釈派」
  - Michael H. Harris “The purpose of the American public library : a revisionist interpretation of history” *Library Journal*, vol. 98, no. 16, 1973, p. 2509-2514.
- 1990年代以降 歴史・文化・社会的文脈を考慮した図書館研究 “Reading Study”
  - Wayne A. Wiegand “Tunnel vision and blind spots” *Library Quarterly*, vol. 69, 1999, p. 1-32.
- カルチュラルスタディーズの**影響**
  - 文化現象に内在する権力構造の検証

7

## 分析概念

- 分析概念
  - 階級
  - ジェンダー
  - マイノリティ
- 主流文化・周縁文化のとらえなおし
  - 周縁から主流を照射することによって、ライブラリアンシップの文化政治的構造を浮かび上がらせる

8

## 具体的な研究例：ジェンダー研究

- C.ポージー「ピリヤードより良いもの」川崎良孝編著『図書館・図書館研究を考える』京都大学図書館情報学研究会, 2001, p. 119-152.
- Kate Larson “The Saturday Evening Girls: A Progressive Era Library Club and the Intellectual Life of Working Class and Immigrant Girls in Turn-of-the-Century Boston” *Library Quarterly* 71, April 2001, p. 195-230.
- Suzanne M. Stauffer “She speaks as one having authority: Mary E. Downey’s Use of Libraries as a Means to Public Power” *Libraries & Culture*, vol. 40, no. 1, 2005, p. 39-62.

9

## 関連雑誌・団体

- *Journal of Library History* (1966年創刊)
  - *Libraries & Culture* (1988年名称変更)
  - *Libraries & the Cultural Record* (2006年名称変更)
  - 季刊・査読付き学術雑誌
  - 研究論文・研究ノート・エッセー・書評
- アメリカ図書館史研究の団体
  - ALA部会 [LHRT](#) (Library History Round Table) 1947年設立
  - [SHARP](#) (Society for the History of Authorship, Reading & Publishing) 1991年設立

10

## 参考文献(1)

- McCook, Kathleen de la Peña *Women of color in librarianship : an oral history* American Library Association. Committee on the Status of Women in Librarianship, 1989
- 義江彰夫他編『歴史の文法』東京大学出版会, 1997.
- 三浦太郎「米国の図書館史に関する研究動向」国立国会図書館『米国の図書館事情に関する調査研究』(図書館研究シリーズ No.40), 2007年7月刊行予定

11

## 参考文献(2)

- [Library Quarterly vol. 73](#)
- Wayne A. Wiegand「20世紀の図書館・図書館学を振り返る：狭い視野と盲点」川崎良孝訳『図書館・図書館研究を考える』川崎良孝編著, 京都・京都大学図書館情報学研究会, 2001, p. 3-44.
- 小熊英二『<日本人>の境界：沖縄・アイヌ・台湾・朝鮮植民地支配から復帰運動まで』新曜社, 1998
- 吉田右子『メディアとしての図書館』日本図書館協会, 2004, p. 239-269.

12